

平成23年度
実施事業

事務事業名 シルバー人材センター補助金

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|---|
| 章 | 1 | やさしさと共生するまち |
| 節 | 3 | 誰もが安心して暮らせるまちをつくる |
| 施策 | 2 | 高齢者福祉の確立 |
| 小分類 | 1 | 長寿社会の基盤づくり |
| 主要な施策 | 1 | 高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実 |
| 事務事業番号 | 007 | 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-------|-------|----------|
| 部 名 | 観光経済部 | グループ名 | 商工労政グループ |
|-----|-------|-------|----------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|----------|---|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | 登別市シルバー人材センターの運営に対して補助することにより、高齢者の就業機会の確保を図ることを目的とする。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 高齢者の就業機会確保や生きがいの充実、社会参加の促進に取り組む登別市シルバー人材センターに対して補助した。 【事業実績】 平成24年3月末会員数 369名 受託件数 2,410件 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 登別市シルバー人材センターは、平成22年度、平成23年度と2年連続で国からの補助金が減額され、厳しい運営を強いられている。同センターでは、退職者の不補充や経費の見直しなど経費節減と会員一人ひとりが一就業開拓を行う受注額増加により経営健全化に向けた取り組みを推進してきているが、今後も取り組みを継続するよう求めるとともに補助を継続していく。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | ・登別市補助金等の事務取扱に関する規則 ・高齢者等の雇用の安定等に関する法律 |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H22年度 決算 | H23年度 決算 | H24年度 当初予算 | H25年度 見込 | H26年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 9,500 | 8,800 | 8,800 | 8,800 | 8,800 |
| 事業費 合計 | | | 9,500 | 8,800 | 8,800 | 8,800 | 8,800 |

指標の推移

《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 |
|----------|----------------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | 受託事業契約金額 | 千円 | 目標値 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 |
| | | | 実績値 | 174,472 | 165,026 | | | |
| | 60歳以上人口の会員加入割合 | % | 目標値 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 |
| | | | 実績値 | 1.9 | 1.9 | | | |

| 現況 | | 《Check》 |
|---|---|---------|
| 現状の状態、問題点、課題等《事業前》 | 具体的な対策、解決の方向性《事業後》 | |
| <p>登別市シルバー人材センターは、退職者の不補充や経費の見直しなどの経費節減や年会費の増額、会員一人ひとりが就業先の開拓を行うなど経営健全化に向けた努力がなされているが、景気の悪化などにより受注金額が減少しており、現在はこれまでの繰越金を取り崩して運営している。</p> <p>また、行政刷新会議による事業仕分けで、同センターへ国からの補助金について、3分の1程度の減額となることが見込まれることから、収入の大幅な減少が予想される。</p> | <p>市は、高齢者の就業機会を確保するために必要な措置を講ずる必要があることから、引き続き同センターに対して補助金を交付し、その運営を支援していくとともに、経営健全化の取組みを継続して実施していくよう要請していく。</p> | |

| 担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） | | | 《Check》 |
|-----------------------------------|------------------------|-------------|---|
| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | 市が主体に行うべき事業である | 判断理由及びその他所見 | 国や北海道とともに、高齢者の就業の機会を提供する団体の育成や就業の機会の確保のために必要な措置を講ずるよう努める必要があるため。 |
| | 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である | | |
| | 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である | | |
| | 国、道、民間等の事業と重複・類似している | | |
| 2. 事務事業の必要性について | | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | 市民、団体等から具体的な要望がある | 判断理由及びその他所見 | 本格的な高齢化社会を迎え、高齢者の就業意欲の高まりや就業希望が増加している中、長年培われた知識や経験、技術を持った高齢者の社会参加を促進することは、高齢者の生きがい対策として重要であるため。 |
| | 市民アンケートの結果から必要性が高い | | |
| | 社会情勢、地域事情等から必要性が高い | | |
| | 市民の大部分が関連することから必要性が高い | | |
| 3. 事務事業の効率性について | | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | 低予算、少労力で高い効果をあげている | 判断理由及びその他所見 | シルバー人材センター独自の財政健全化に向けた努力がなされているが、景気の悪化などもあり、これ以上の補助金額の削減は、同センターの運営に支障を来し、目的を達成できないと考えられる。 |
| | 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い | | |
| | 多額の経費や労力を要するがやむを得ない | | |
| | 将来的に効率性を向上できる | | |
| 4. 事務事業の成果について | | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | 成果指標の向上が見られる | 判断理由及びその他所見 | 景気後退による民間企業からの受注減少や高齢者自身が定職を求める傾向があることから数値としての成果はあがっていないが、高齢者の就業機会の確保等について、市民からの声などから一定の成果が感じられる。 |
| | 市民、団体等の声から成果が感じられる | | |
| | 目に見える形で成果があがっている | | |
| | 成果の把握は困難である | | |

| 担当グループによる評価 | | 《Check》 |
|-------------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) | 本格的な高齢化社会を迎え、高齢者の就業意欲の高まりや就業希望が増加している中、長年培われた知識や経験、技術を持った高齢者の社会参加を促進することは、高齢者の生きがい対策として重要であり、就業機会などの場を確保するシルバー人材センターを支援する本事業を維持する必要がある。 |

| 行政評価会議による評価 | | 《Check》 |
|-------------|----|---------|
| 維持 | 備考 | |